

南国日生ビルへ地下通路

完成祝い通り初め



テープカットを行う関係者
＝鹿児島市の南国日本生命ビル通路入口付近で

(株)南国日本生命ビルディング(上野 篤一社長)が施工していた鹿児島中央駅前公共地下道と同社ビルを直接結ぶ地下通路がこのほど完成、12日に現地で行われた完成式典が行われ、行政関係者やJR九州、施工業者ら多数が出席して完成を祝った。

同日は、同ビル通路への入口側に関係者が集まり、上野社長をはじめ、中村孝典土木都市計画課長、木村耕一鹿児島市助役、中村修九州旅客鉄道(株)鹿児島中央駅長、宮崎隆光清水建設(株)常務執行役員九州支店長の5人によるテープカットが行われ、出席者全員で通路の渡り初めを行った。

きた地下通路で、全長約34m(幅2.4m、高さ2.2m)、15年11月から整備に着手し、16年7月に完成。総工費は1億6000万円。施工は清水建設が担当。

なお、県で内装・設備工を進めているキャンセビル側の延長約70mについては、19日午前6時から供用開始する予定。



ヘルメットをかぶって記念撮影する子ども探検隊
＝入来町の現場事務所で

砂防現場こども探検隊
使用した生コン量に驚き
川内土木

県川内土木事務所は9日、薩摩郡入来町清浦で、施工中の火山砂防工事(清浦工区、(株)田島組施工)現場で、同町朝陽小学校の3、4年児童10人を対象に「砂防現場見学会(こども探検隊)」を開いた。

櫻木正仁河川砂防第二係長から砂防ダムの役割や環境に配慮した工事の進め方等の説明を聞いた後、土砂災害のビデオを鑑賞。予定では現場探検だったが、あいにくの雨でやむなく中止。児童たちは少し残念そう。

櫻木係長が「砂防ダムという言葉を聞いたことがありませんか」と質問すると2、3人の児童が「知っているよ」と元気に手を上げた。

児童たちは今、社会科の授業で「入来町の人たちはどんな仕事をしていて、どんな仕事に就いているのか」(杉尾拓郎教諭)の勉強中で、「入来町では1年に何箇所ぐらいがけ崩れがあるのですか」「砂防ダム工事をしてる箇所は他にあるのですか」「コンクリートはどのくらい使ったのですか」など用意してきた質問は専門的なものばかり。特に「使ったコンクリートの量は約4500立方メートルで、学校のプールで換算すれば約20杯分になります」と、また田島麻実現場代理人が「お家の風呂では約15000倍です」と答えると「ええ!」と驚き、使った生コン量を頭で描いていた。

最後に櫻木係長が「また台風や集中豪雨がやって来ます。きょう学んだことをお家に帰ってからお父さんやお母さんにもお話し下さい。皆さんも常に災害に備わらないよう」と呼び掛けた。



16年度日本技術士会の会長表彰を受賞した 上野 篤秀さん

九州支部幹事として長きにわたり支部発展に尽力し、技術士制度の普及に貢献したことが評価されての受賞となった。約5年ぶりとる本県からの選出に、今年度の受賞者は全国7支部から計21人(九州支部4人)。過去の受賞者には、昭和33年(父・上野光夫氏)取得は昭和61年3月。以降九州支部では研

かお...人

修委員、試験委員を務めるなど人望は厚い。また、技術士法改正に伴い近年、若い技術士の育成・指導にも全力で取り組んでいる。「難易度が高く、名誉ある資格でありながら、まだまだ周知度が低いのが現状。各部門からいかに社会貢献できるかを第一に考えていくことが極めて重要」と持論を展開する。

技術士制度の普及に貢献

理工学部土木工学科を卒業後、昭和38年に日本舗道(株)(現NIPPONコーポレーション)に入社。52年の帰郷とともに父が経営する新日本技術コンサルタントへ。技術士(建設部門)の取得を機に同社社長に就任、また今年2月からは会長に就任して業務を統括、現在に至っている。鹿児島市在住、63歳。(田原謙一・報道部)



構内を見学する見学者
＝川内市の西日本興産工場で

廃プラ回収の理解深まる

工場見学者延べ893人
西日本興産

西日本興産(株)(桑原宏志社長、川内市)の廃プラスチック再生処理施設・ウェステックリプラ川内工場は平成14年操業以来、工場見学者が相次ぎ、6月29日も同市内の可愛小学校PTA35人が工場を訪れた。見学者数は延べ893人になった。

富永正文工場長から同工場が受け入れるプラスチック製容器包装の適格品・不適格品についての説明を聞いた後、構内を見学した。

富永工場長は「工場見学を通して地域の人たちに廃プラ回収の必要性を理解していただき、ごみ減量化やリサイクル率向上に貢献できれば」と話した。なお工場見学は常時受け付ける。

申し込みは、同社工場(099-22-2222)へ。

協会発展に尽力

中尾 正敏さん

今年3月、鹿児島労働局総務部労働保険徴収室長を最後に退職し、4月から事務局長に就任しました。昭和37年に入省以来、県内7カ所すべての労働基準監督署で勤務した経験とノウハウをフルに生かし、協会発展のために尽力していきたいと思っております。

(建設役車両安全技術協会県支部事務局長)



鹿銀の県内景況

公共、民間とも低調

鹿児島銀行はこのほど、最近の県内景況を発表した。総括では「生産活動が順調に推移し、個人消費は引き続き一部に持ち直しへの動きがみられる。他、観光面も好調を持続しており、全体としては回復に向けた動きが続いている」と報告し、建設業関連では「公共工事発注は前年割れが続く、民間建築も住宅建設が前年を下回るなど低調」とまとめた。

また、主要建設資材卸売業者の売上げ(5月)は、建設工事量の少なさを反映し低調に推移した。生コン生産(5月)は、公共工事向け、民間工事向け共に低調に推移した。木材関係では、住宅建設向けの需要不振から、製材品は生産・出荷共に低調に推移している。このため、市況は国産材では原木、製品ともに弱含んだが、外材は供給減や船賃高騰などの影響が懸念

止が最重点事項。特定(定期)自主検査や月例検査の普及・定着化に向け、啓発、指導を鋭意行っていくと考えています。

趣味は、名瀬労働基準監督署時代に始めた弓道。メンタルなスポーツなので、集中力を養うには最適です。最近はずいぶん、なかなか眠がありませんが落ち着いたらまた活動を再開したいですね。